



2019年度 日外協 定時社員総会

節目を刻み 新たな時代へ

一般社団法人 日本在外企業協会（日外協）は6月11日（火）、日本工業倶楽部会館で2019年度定時社員総会を開催。会員企業・団体の代表が参加し、日外協創立45周年の意義を確認し合った。



総会議事



慶應義塾大学大学院・高橋俊介特任教授の特別講演会は聴衆で満席に



川名浩一副会長（右端・日揮㈱副会長）による乾杯の挨拶のあと、大勢の参加でにぎわう会員交流会

2019年度日外協定時社員総会

最初に挨拶に立った日外協・伊藤雅俊会長(味の素㈱会長)は、日外協が1974年に設立されてから今年で45周年を迎えることができた到来賓および出席者に感謝の意を伝えた。そして、グローバルな経営環境が急速に変化する中であって、日外協として会員企業のために活動の質の向上に努め、新たなお役立ちを果たしていきたいと抱負を述べた。



続いて、経済産業省貿易経済協力局の小泉秀親投資促進課長が来賓として挨拶。日外協創立45周年を祝福した。

議事に移り、2018年度事業報告・決算報告、および2019年度事業計画・収支予算についての報告が行われ、理事改選と共に承認された。

総会終了後の特別講演会では、慶應義塾大学大学院の高橋俊介特任教授が「グローバルに通用する組織・人事のあり方」とのテーマで講演を行った。

* 2019年度事業計画の詳細は日外協サイトにて「日外協の概要」内の「情報公開」に全文掲載

来賓挨拶

基盤の整備に企業の声を

経済産業省 貿易経済協力局 投資促進課長
小泉秀親氏



本日は2019年度定時社員総会にお招きいただき、ありがとうございます。45周年を迎えるにあたり、お祝いを申し上げるとともに、長きにわたり日本企業の海外展開をサポートする様々な活動を行ってこられたことに敬意を表したいと思います。

この間に時代は昭和から平成、そして令和へと移り変わり、日本企業を取り巻く状況も大きく変わりました。しかし、いかに進出先国の社会と共生し「よき企業市民」としての役割を果たしていくかというテーマの重要性は変わるところか、近年、ますます重要性が高まっています。昨今、SDGsが脚光を浴び、この考えに賛同し、経営の中に取り入れる企業が広まりつつあ

ることは、その証左ではないかと思えます。

また、最近では社会保障協定について建議いただきました。こうした基盤の整備は、双方向の投資や人材の往来を円滑にするため非常に重要であり、皆様からも声を上げていただいたことに感謝申し上げます。

人材の往来という点では、日本から海外に派遣するだけでなく、海外から優秀な人材を登用するというのが当たり前になってきます。グローバルに通用する人事制度の構築や人材活用が課題であり、こうした分野でも貴協会の役割に期待しております。

最後に、この令和の時代に、貴協会がますますご発展されますことを祈念いたしまして私のご挨拶とさせていただきます。■

2019年度 事業計画の概要

2019年度は、下記を課題と捉え、事業計画／予算を策定する。

- ①会員企業のニーズに合った企画の充実と質の向上
- ②国内外における日外協のプレゼンス向上に向けた発信力の強化
- ③メリハリのある予算策定
- ④関西・中部地区での活動の活性化

各部の予算策定事業方針

◎業務部

会員ニーズと事業目的に合致した活動の強化

- ①政府への建議・提言：二国間社会保障協定、海外子女教育。
- ②調査・出版物発行事業：『アメリカ雇用ガイドブック(仮)』を作成し12月に発行。
- ③講演会事業：アジアシリーズ、中国シリーズ、国別・テーマ別など合計で年10回実施。
- ④グローバル経営推進フォーラム：年4回開催。今年度より特別会員制を廃止し、通常会員も参加可能に。



グローバル経営推進フォーラム

- ⑤共催セミナー・後援事業：大阪商工会議所、関西経済連合会、愛知県経営者協会など。
- ⑥国際人事部会：年2回実施。
- ⑦グループ研究会事業：国際人事グループ研究会（東京・関西地区）各5回開催。
- ⑧国際交流活動：第33回日本語スピーチ・コンテスト優秀者^{しょうへい}招聘事業を10月に実施。
- ⑨その他：隔年で行われている「海外・帰国子女に関するアンケート」を実施。「海外派遣者適性診断ツール(WEA)」について

は、引き続き普及に努める。



日本語スピーチ発表会は今年で33回目（写真は2018年度各国代表）

◎海外安全センター

海外安全・危機管理に関する事業を継続。海外安全グループ研究会、海外安全部会などを通じて会員の満足度向上をはかる。海外赴任前セミナー、危機管理産業展、他団体との共催・後援、海外安全・危機管理認定試験、また海外安全アドバイザー制度の実施を通じて会員企業はもとより非会員企業への海外安全・危機管理の啓発に努める。

- ①講演会事業：海外安全講演会を東京で2回開催。危機管理産業展で海外安全・危機管理に関する講演会を実施。
- ②セミナー事業：海外赴任前セミナー12回（東京10回、大阪2回）、シミュレーションセミナー、および外務省・大商などと共催。
- ③海外安全部会：3回実施するうち1回は従来通り賀詞交歓会を兼ねて外務省領事局の方を招く。
- ④海外安全グループ研究会：東京3グループ、関西、中部各1グループの計5グループで

年に各4回実施。

- ⑤海外安全・危機管理 認定試験：管理者コースは10月と3月、責任者コースは10月に実施。
- ⑥アンケート調査：隔年実施している「海外安全対策に関するアンケート」(定点観測)。今年度で13回目。
- ⑦メールマガジン『海外安全センター・ブレティン』を毎月発行。
- ⑧その他：海外安全アドバイザー制度の推進、緊急事態対応情報の収集・提供、海外での事業実施に向けた検討など。

◎広報部

グローバル経営に役立つ知見を会員企業・読者に提供。日外協の活動を会員企業・読者に知らせる。

- ①『月刊グローバル経営』の発行：19年7/8月合併号以降全面カラー化。
- ②SDGs講演会の実施：複数の有識者を講師に招いて10月に実施。
- ③日外協ウェブサイトの運営・管理：会員企業にとってより使いやすいサイトを目指す。月刊誌記事の一部転載などコンテンツの拡充を図る。
- ④対外広報活動の強化：SNSの活用によるイベント等の情報発信を図り、協会の知名度向上を目指す。

◎総務部

安定的協会運営、会員企業との良好な関係づくりの継続。

- ①協会会計基準の見直しを実施し、煩雑な事務処理を簡素化。
- ②45周年企画の実施(大阪、名古屋)：関西・中部地区の活動の活性化の一貫として大阪、名古屋での45周年記念パーティを実施する。

役員 (敬称略)

【会長 (代表理事)】

伊藤 雅俊 味の素(株) 会長



【副会長・理事】

川名 浩一 日揮(株) 副会長



【理事】 =法人名、五十音順 (*は新任)

- 佐田 誠* (株)HIH グローバル・営業統括本部 副本部長
- 松澤 巧 味の素(株) 執行役員 人事部長
- 湯山 空樹 AGC(株) 人事部 人事統括担当部長
- 大森 祥資 王子マネジメントオフィス(株) グループ人事部 人事業務企画部長
- 松井 明雄 花王(株) 執行役員 人財開発部門統括
- 壬生 和幸 川崎重工(株) マーケティング本部 企画部長
- 茂木 修 キックマン(株) 取締役常務執行役員 国際事業本部本部長
- 田島 信二郎 キヤノン(株) 人事部 人事統括センター 人事部 コーポレート人事担当主席
- 岡田 正俊 帝人(株) 人事部長
- 渡辺 覚* (株)東芝 人事・総務部 総務企画室長
- 中川 淳一 本田技研工業(株) 渉外部 担当部長
- 鹿島 浩二 丸紅(株) 人事部長
- 竹増 喜明 三井物産(株) 執行役員 人事総務部長
- 稲田 佳昭 日外協 専務理事 (業務執行理事)
- 多田 一郎* 日外協 常務理事 (業務執行理事)
- 【監事】
- 吉田 猛 (株)資生堂 常勤監査役
- 太田 敦 (株)三井住友銀行 国際統括部 副部長